

けいちょうねんき  
オシラサマ (慶長年紀)

指定種別：市指定文化財

指 定 日：昭和 53 年 11 月 28 日

所 在 地：個人蔵

制 作 年：慶長 14(1609)年

寸 法：頭上冠

長さ 32.5 cm

胴径上 1.5 cm

胴径中 1.7 cm

胴径下 1.5 cm

頭上髪結

長さ 32.9 cm

胴径上 1.5 cm

胴径中 1.5 cm

胴径下 1.7 cm



左と中央が指定オシラサマ

オシラサマは、東北地方に古くからある民間信仰で、金野家では養蚕と目の神様として信仰しています。

縁日は旧 10 月 15 日で、座敷にかざり、ごちそうを供え、近所親類の人達もお参りをします。その日は新しい衣装を頭部から 1 枚重ね着にするので、下の布ほど古く、縁日を俗に御日(ゴヒ)といい、前主人の命日で昔から主人の逝去によって変わる慣わしがあります。



指定 2 体のほか 4 体のオシラサマがある

このオシラサマには慶長 14(1606)年の銘文があり、釜石市で最も古いオシラサマであり、箱崎地区の民俗資料として重要なものです。